

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

<項目>
 第1章 事業別の医療体制の設備・充実
 第5節 小児医療

とりまとめ担当課：医療課

1 課題に対するこれまでの取組実績

(1) 小児の健康状態の相談を行う機能の充実	
→	かながわ小児救急ダイヤル（#8000）は365日、18時から24時までで実施しており、相談利用件数は年々上昇を続けている。（H30:35,795件）
→	深夜0時以降も電話相談を行っている自治体が47団体中43団体を占めている現状を考慮し、深夜帯時間延長への検討や、#7119事業との連携の可能性を含めた検討など、将来的に効果が見込まれる施策を検討している。
(2) 小児救急医療体制の安定的な確保	
→	小児救急医療体制に係る需要と供給が一致しておらず、供給が不十分である状態に依然変わりはないことから、引き続き小児救急医療の供給量の維持・充実に努めるとともに、小児救急に係る医療資源の効率的な活用を進める。

2 目標値の推移

名称	単位	策定時	実績値	達成目安	目標値 (R5)	達成率 (%)	備考
疾病程度別の乳幼児の搬送割合	%	軽症 77.9 (H28)	76.2 (H29)	73.9	軽症 49.6以下	△ (42.5%)	平成30年版救急・救助の現況より
一般小児医療を担う病院数（小児10万人あたり）	施設	9.3 (H26)	9.6	12.3	16.1以上	△ (7.5%)	平成30年医療施設調査（医療計画作成支援データベースより）
小児医療に係る病院勤務医数（小児人口10万人あたり）	人	50.7 (H26)	52.6	56.8	64.4以上	△ (31.1%)	平成30年医療施設調査（医療計画作成支援データベースより）

3 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 小児の健康状態の相談を行う機能の充実

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	・ #8000事業の更なる周知を図っていくとともに、深夜帯時間延長等拡充への検討や、#7119事業との連携の可能性を含めた検討など、効果的な施策を検討していく。
評価理由	・ #8000事業の維持運用を行いつつ、将来的な拡充を含めた検討等について、幅広い観点から効果的な施策を検討している。

(2) 小児救急医療体制の安定的な確保

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	<p>ア 初期救急医療体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 休日夜間急患診療所において土休日に小児科医を確保することで、小児の初期体制が図られた。 <p>イ 二次救急医療体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小児輪番病院や小児救急拠点病院の小児科医及び看護師等の人件費を支援することにより、二次救急医療体制の維持が図られた。 <p>ウ 三次救急医療体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 救急医療情報システムを活用した小児救急患者の搬送に必要な情報提供やドクターヘリ、ドクターカーを利用した小児救急患者の病院間搬送体制の維持が図られた。 <p>エ 退院後の患者を在宅医療等により地域で受け入れる機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な受け入れ場所への環境や医療体制の整備を行った。
評価理由	それぞれ必要な取り組みを続けており、順調に進捗している。

4 総合評価

評価	評価理由
B	関係する課題の解決に向けて比較的順調に進捗している。